



# いない! いない! ばあっ!



もも組 クラス懇談会資料 R8. 5. 29

## ☆保育目標☆

自分が好き 友だちが好き 東成瀬が好き  
～やさしさと自然につつまれて  
一人ひとりが輝く子どもの育成を目指して～

## ☆子ども像☆

- \*のびのびと元気に遊ぶ なるせっ子
- \*丈夫な体でやりぬく強さを持つ なるせっ子
- \*人とかわる力を持つ なるせっ子
- \*失敗をおそれず挑戦する なるせっ子
- \*自然とふるさとを楽しむ なるせっ子

## 1. 0歳児の発達・姿

### 【0歳児】

- \*身近な人の顔が分かり、あやされると喜ぶ。
- \*座る、這う、立つといった運動から歩行へ発展し、指や手の動きも発達してくる。
- \*人見知りをするが、見慣れた大人には、その身振りを真似て、ニギニギやハイハイをしかかろうとする。
- \*身近な人や欲しいものに興味を示し、探索活動が活発になってくる。
- \*自分の意思や欲求を身振りや泣きで伝えようとする。
- \*1歳前後には、つかまり立ち、伝い歩きをしたり、手押し車を押したりするようになる。



## 自我の目覚め

0歳児という年齢は「体の動き・遊び」「生活習慣」「言葉の習得」等、変化や発達が目覚ましい時期です。それに伴い自我も芽生えてきます。「自分でやりたい」という意欲が出始め、周りの人・友だち・自然・動物などへの興味と関心が高まってきます。上手くいった時は褒めることを繰り返し、一緒に喜びを共有して、自分でしようとする意欲を育てています。また、言葉の獲得も進んでいきますが、まだまだ自分の気持ちを言葉で表現する事はできません。その為、絵本や玩具の取り合いをしたり、できない事や不満を言葉で表せずに「噛みつき」や「引っかき」をしたりしてしまいます。

## ひっかき・噛みつき・髪を引っ張る など

自我の表現や自己主張の手段の形として表れます。

現在はまだ見られていませんが、お友達への興味・関心が高まってくると、こういった姿が見られるようになることもあります。例えば、興味が同じ事による物や場所の取り合いなどが原因と見られる事がほとんどです。私たち保育者が仲立ちとなって、関わり方を知らせたり、互いの気持ちを言葉で代弁し知らせたりし、双方の気持ちに寄り添っていったり、環境を見直したりしながら、防止に取り組んでいきたいと思っています。どうしても防ぐことが難しい状況や場面も、実際にあります…。その際は、状況や保育者の対応、今後の対策などを保護者の方へお伝えいたします。

また、そういった姿が続く場合は、保護者の方へお伝えいたしますので、ご相談させていただけたらと思います。加えて、故意でなくてもお友達や自分自身を傷つけてしまうこともありますので、引き続きこまめな爪のチェック・爪切りにご協力ください。



## 2. もも組の目標

- \*特定の保育者との安定的なかかわりの中で、一人ひとりの生活リズムが大切にされ、安心して気持ちよく過ごす。
- \*一人ひとりの生活リズムを大切にしながら、安定した生活が送れるようにする。
- \*保育者等との信頼関係の中で、情緒の安定に配慮しながら欲求を満たしていく。
- \*離乳の完成、歩行の開始、発語の意欲を育む。
- \*保健的で安全な環境のもとで、探索活動を十分に楽しめるようにしていく。

<健康>生理的欲求を満たされる中で、安心感を持って過ごす子ども

<人間関係>保育者との愛着関係、信頼関係の下、人とのふれあいを楽しむ子ども

<環境>さまざまな動きやあそびを通して、感覚の働きを豊かに育む子ども

<言葉>自分の思いを喃語や発声、身振り等で伝えようとする子ども

<表現>自分の欲求や思いを存分に表現することができる子ども



### 3. 毎日の取り組み

- \*音楽を流し、楽しく明るい雰囲気づくりをします。
- \*絵や言葉に親しんだり、真似を楽しんだりできるよう、絵本・紙芝居の読み聞かせをします。
- \*子どもの体調、天候に合わせて、散歩や戸外活動を多く取り入れます。
- \*活動内容に応じて年上児との交流の場を設定していきます。

### ご家庭と一緒に取り組みたいこと

#### \*情緒の安定

まだ言葉で体調を訴えられない0歳児は、泣き方や表情、体勢などから優しくサインを読み取る必要があります。園では一人一人のペースに寄り添い、無理なく安心して過ごせるよう細やかに見守っていきます。お子さんの小さな変化にいち早く気付くためには、園とご家庭との連携が欠かせません。「いつもと少し様子が違うな」と感じるがありましたら、ぜひ登園時にお気軽にお声がけください。些細なことでも互いに情報を共有し、声を掛け合いながら、一緒に温かくサポートしていきましょう。



#### \*食具を使って食べる

この時期は、好きなものを自分で食べる楽しさや喜びをたっぷりと味わってほしいと思っています。自由にさせたい反面、毎日の片付けの大変さも、よく分かります。今はきれいに食べるよりも「自分でできた!」という満足感を大切にしたい時です。園とご家庭で手を携え、お家での様子も共有し合いながら、焦らず一緒に応援していきましょう。



✿ 諒晟君のペースに合わせて、無理なく、楽しく充実した毎日を過ごせるように努めて参ります ✿